

第5学年 図画工作科学習指導案

児童 男17名 女22名 計39名

指導者 戸 館 美智子

1 題材名 「光とかげ - 光を当てると - 」(造形遊び)

2 題材について

(1) 題材について

本題材は、学習指導要領図画工作科第5学年及び第6学年の目標「(1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。」及び「(2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。」をうけて設定したものである。

さらに、この目標をうけて、内容が、A表現の(1)のア「材料や場所などの特徴をもとに発想し、よさや美しさなどを考えて、想像力や創造的な技能などを総合的に働かせて楽しく表現すること」とイ「材料や場所などに進んでかかわり合い、それらをもとに構成したり、つくるものと周囲の様子を考え合わせて表したりしながら造形遊びをすること」で構成されている。

本題材では、光を生かした表し方に興味をもち、その効果を確かめながら発想し、光の特徴を生かしながらつくることをねらいとしている。

光は、人間の心を豊かにするものである。光を当てると効果的な材料をいろいろ試しながら、光とかげの美しさを生かしながら、自分の思いにあったものをつくり、それらを持ち寄って共同展示し、見る人にも光を使った作品のよさを味わってもらいたい。

(2) 児童について

子どもたちの中では、各教科の中でベスト3に入るほど図画工作に対する思いは大きい。作品を仕上げるまでにどの子どももよく観察し、題材と対話しながら素直に表現している。中でも「ものづくり」は、自分流に自由につくれ、作った後も飾ったり使えたり遊べたりできるものが多いことから大好きな題材になっている。また、発想を楽しんだり、イメージが沸き易いと感じているのも魅力の一つである。その他「共同作業」にも楽しさを感じている。作品をつくりながら、互いに聞きあったり、感じたことを話し合ったりするところ楽しさを感じている子どもたちが多い。

立体に表す「液体粘土をつかって トロリーかたまれ」の学習では、初めて体験する液体粘土との出会いである「世界」の場面で、液体粘土の感触・楽しさを味わう時間を十分に取ることで発想や構想が広がり、布が固まったときの様子をイメージしながら創作する姿が見られるようになり(自分とのかかわり)、鑑賞し合いながら個々の作品を組み合わせたり、展示を楽しんだりするようになってきた。

また、工作「ゲートをぬけてゴールイン」では、制作途中でも材料の使い方を交流し合ったり(友達とのかかわり)、接着の仕方や加工の仕方のよさを発見したりして作品をより楽しいものにしよとする子どもが増えてきた。更にできあがった作品で組み合わせ遊び、休み時間にも作品に改良を加えている子どももみられるようになった。

(3) 指導について

光は、子どもたちにとって関心の高い材料であり、美しさを感じやすい材料である。暗い場所で光るものをみた経験を振り返らせてその美しさをイメージさせ、手元を集めた材料をどのように扱おうとそのよさや美しさが表現できるかを考えさせたい。

ここでの光源は蛍光灯を使い、光を通すものを下から照らす美しさ・不思議さ・幻想的な様子を体感させる「世界」の場面から、児童の主体的な活動や思考を引き出していきたい。また、昼間には感じなかった形や色が浮かび上がる様子や光が動く美しさをいろいろ体験しながら思考させるために、隣の集会室に暗室を作り、どのような材料が光に当たると美しいのか、どのような色の使い方をすると光の不思議さが出てくるのかを様々な活動を試させたい。そして、友達と試したことや組み合わせ方を工夫したことなどを鑑賞し合い、光の効果を確かめさせながら一人一人のつくりたいもののイメージを更に膨らませていきたい。

3 目標

- (1) 光とかげの美しさやおもしろさを生かして、自らつくる造形活動を楽しむ。(関心・意欲・態度)
- (2) 光の当たり具合の効果や材料の色・形の組合せを確かめながら、つくるものを発想・構想する。
(発想・構想の能力)
- (3) 光の効果を生かしてつくり、作品を持ち寄って、造形的な環境を構成する。(創造的な技能)
- (4) 友だちの発想のおもしろさや作品のよさを味わう。(鑑賞の能力)

4 指導計画と評価規準 (4時間、180分扱い)

時間	学習内容	評価規準			
		関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
おも う 45分 (本時)	光を当てたり、中から入れたりしながら、効果的になる表し方や組み合わせ方を試す。	・光とかげの美しさやおもしろさに関心をもち、いろいろと光の効果を試している。	・光の効果を生かして、つくりたいものを発想している。		・光の効果を生かした作品を鑑賞し、その美しさなどの特徴に気づき、よさを味わっている。
あ ら わ す 90分	製作するものを決め、どのような光の当て方をすると効果的か試しながら構想を練り、製作を進めていく。		・つくりたいもののテーマをもち、組み立て方など試しながら構想を練る。	・光と材料との関係を考えて、感覚を働かせて形にしている。	
み あ う 45分	作品を持ち寄り展示し、展示の効果がわかるように工夫する。	・自分や友達の作品のよさや美しさに関心をもっている。			・光を使った作品で、友達と構成した環境を楽しみながら、それらのよさを味わっている。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- < 関心・意欲・態度 > ・光とかがげの美しさやおもしろさに関心をもち、いろいろと光の効果を試している。
- < 発想・構想の能力 > ・光の効果を生かして、つくりたいものを発想している。
- < 鑑賞の能力 > ・光の効果を生かした作品を鑑賞し、その美しさなどの特徴に気づき、よさを味わっている。

(2) 準備

- < 児童 > ・絵の具、はさみなど
- < 教師 > ・色画用紙、トレーシングペーパー、段ボール、新聞紙、割り箸、袋、セロハン、セロハンテープ、牛乳パック、ペットボトル、接着剤、マーカー、ビー玉、蛍光灯などの光源、暗室など

(3) 本時の展開

過程	学 習 活 動 と 内 容	支 援 () と 評 価 (・)
お も う 世 界 10分	1 作品を鑑賞する。 ・光を生かした造形品を提示し、明るいと暗くしたときと部屋を暗くして見たときの違いを話し合う。 2 学習の場を体感する。 ・下から光を当てる装置<光ボックス>を紹介する。 3 本時の課題をつかむ。	光を生かした造形品を鑑賞させたり、光に関する感動経験を想起させたりしながら、光とかがげの美しさやおもしろさを感じたままに発表させる。 やってみたい、作ってみたいという感じを十分に持たせる場の設定や提案の仕方を工夫する。実際に暗室に用意した光源装置を点灯させ、光の大きさや美しさに関心をもたせる。 光源装置に実際に参考作品を置くことにより、感じたことを自由に発表するとともに、これからの学習の方向を理解させる。
	光の効果を確かめながら、つくりたいものを見つけよう 条件その いろいろな材料で試してみよう(置くもの) 条件その 光の当たり方を試してみよう(台紙)	
あ ら わ す	4 材料を体感してみる。(条件その) ・光が当たるとどう見えるか材料をいろいろと試してみよう。 5 作品を効果的にするような光の当たり	どのような材料が美しく見えるか暗室で試してみる。 班ごとに指定された光源場所で各自、試行錯誤する中で、友達と相談してもよいことを知らせる。

<p>自分・友達</p> <p>20分</p>	<p>方を試してみる。 (条件その)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光を効果的にさえぎってみよう ・ <光ボックス> でどんなことをしてみたいかな。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・光とかげの美しさやおもしろさに関心を持ち、いろいろと光の効果を試しているか。 (活動の様子)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・光の効果を生かして、つくりたいものを発想しているか。 (活動の様子・試作品)</p> </div> <p>台紙の大きさや光のさえぎり方、素材の特徴を確かめながら、作品が効果的になるように工夫させる。</p>
<p>みあう友達・自分</p> <p>15分</p>	<p>6 試したことを交流し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色水を使ってみたら... ・セロハンを使ってみたら... ・容器を工夫してみたら... ・形を工夫してみたら... <p>感想を交流しよう。</p> <p>7 次時の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光と材料を生かした作品を作り、みんなの作品をテーマごとに持ち寄って飾ることを知らせる。 	<p>試してみたことを発表し、確かめてみる。</p> <p>班ごとに材料の生かし方を工夫し、光の効果が表れている1～2作品を紹介し合うことにより、その作品からどんなイメージを持ったか発表させる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・光の効果を生かした作品を鑑賞し、その美しさや特徴に気づいているか。 (発話・動作)</p> </div> <p>・光の効果を生かして、これからつくってみたいものややってみみたいことなどを発表させ、次の制作に向けて、簡単な構想をもたせる。</p>

(4) 具体的評価規準

観 点	評価規準 (評価方法)	努力を要する児童への手立て
関心 意欲 態度	<p>・光とかげの美しさやおもしろさに関心を持ち、いろいろと光の効果を試している。 (活動の様子の観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業を一緒に行い、光の美しさを実感させる。 ・上手にできている人に聞き、参考にさせる。
発想や 構想の 能力	<p>・光の効果を生かして、つくりたいものを発想している。(試作した作品)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうやって作ったのか、もう一度確かめさせる。 ・他にどんな光の効果が思いつくか鑑賞し合い、参考にさせる。
鑑賞の 能力	<p>・光の効果を生かした作品を鑑賞し、その美しさや特徴に気づいている。 (発話・動作)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・光が当たっていないときの作品と比べさせる。 ・どういう材料が効果的か確かめさせる。